

日光の砂防 NIKKO SABO 歴史



国による稲荷川の直轄事業がスタート
稲荷川砂防堰堤群の建設に着手

大谷川床固群整備スタート



大雑山腹工着手

鬼怒川流域で砂防事業着手
方等上流砂防堰堤完成



砂防塔完成

日向砂防堰堤、かさ上げ工事完了

砂防事業の歴史



般若沢下流砂防堰堤完成



野上沢下流砂防堰堤完成



稲荷川第10上流砂防堰堤完成

田茂沢第2砂防堰堤完成

芹沢砂防堰堤群完成

直轄事業がスタートして100年

寛文2年
(1662)

豪雨により稲荷川の七滝沢崩壊地付近の堰止め湖が決壊し洪水発生。稲荷町四丁のうち、一丁目を残し、二丁目から下、荻垣町・鍛冶町まで300軒流出。死者140余人と伝わる

明治35年
(1902)

足尾台風で栃木県全県で被害。大谷川の水源部に崩壊が多発し、洪水により神橋、大谷橋、人家100戸余りが流出

大正7年
(1918)

昭和8年
(1933)

昭和22年
(1947)

カスリーン台風により栃木県全県で被害。河川が氾濫、堤防決壊で浸水170余戸、流出4戸の被害

昭和24年
(1949)

キティ台風により栃木県全県で被害。死者12人、負傷37人、家屋全壊248戸、半壊2,318戸

昭和25年
(1950)

昭和27年
(1952)

昭和41年
(1966)

台風26号により全県で被害。日光市山内、大事沢、日光沢温泉で被害

昭和48年
(1971)



災害の歴史

昭和57年
(1982)

台風4号による被害。日光市・今市市で床上浸水、床下浸水の被害

平成11年
(1999)

平成19年
(2007)

台風15号により栃木県全県で被害。日光市・今市市で床上浸水、日光市・藤原町で床下浸水の被害

平成20年
(2008)

平成23年
(2011)

台風12号により稲荷川上流で土石流発生。稲荷川第10上流砂防堰堤が機能し被害なし

平成26年
(2014)

平成27年
(2015)

関東・東北豪雨。芹沢地区に土石流被害。25人が一時孤立



平成28年
(2016)

平成30年
(2018)